

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040190

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費2,900千円 平成26年度～ 事業費3,000千円 計画内容:実行委員会に対する助成
基本施策	5	観光の振興	事業優先度	B		
単位施策	3	おもてなし力の強化	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	オホーツクサイクリング事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	実行委員会					
事業指標	オホーツクサイクリングの開催					
事業目標	年1回					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	9	産業振興課	
			関係課		#N/A	
			ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	実行委員会に対する事業負担 前夜祭実行委員会に対する負担 受入れ・歓迎事業の開催 オホーツク地域サイクリングブランド化推進事業	1 実行委員会に対する負担 450千円 2 前夜祭実行委員会に対する 負担700千円 3 受入れ・歓迎事業の開催 1,750千円	1 実行委員会に対する負担 450千円 2 前夜祭実行委員会に対する 負担800千円 3 受入れ・歓迎事業の開催 1,190千円	1 実行委員会に対する負担 450千円 2 前夜祭実行委員会に対する 負担800千円 3 受入れ・歓迎事業の開催 1,190千円	1 実行委員会に対する負担 455千円 2 前夜祭実行委員会に対する 負担630千円 3 受入れ・歓迎事業の開催 1,420千円 4 オホーツク地域サイクリング ブランド化推進事業 2,650千円	1 実行委員会に対する負担 450千円 2 前夜祭実行委員会に対する 負担630千円 3 受入れ・歓迎事業の開催 1,420千円	
	事業費(千円)	15,435	2,900	2,440	2,440	5,155	2,500
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	2,650				2,650	
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	225				225	
一般財源	12,560	2,900	2,440	2,440	2,280	2,500	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	12,417	2,714	2,447	2,347	4,909	0
	財源内訳						
	国庫支出金	2,650				2,650	
	道支出金	0					
	その他	225				225	
一般財源	9,542	2,714	2,447	2,347	2,034		
関 連 事 項	特定財源の名称 地方創生加速化交付金 いきいきふるさと推進事 業助成金	【評価・実績】	(実施内容等) ・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数合計 839名 212km 658名 日帰りコース 181名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数合計 850名 212km 621名 日帰りコース 229名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数合計 753名 212km 494名 日帰りコースほか 259名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数合計 706名 212km 510名 日帰りコースほか 196名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	94%	100%	96%	95%	0%
		全体達成率	18%	33%	49%	80%	80%
		備考欄					

事業名	オホーツクサイクリング事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	福田 泰弘

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	サイクリスト	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	参加者数								
【抱える課題やニーズは】	新鮮味が薄れていることから、参加費の軽減を含め、老若男女を問わず参加しやすい体制の検討が必要である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	オホーツクライン、とりわけ出発地点である当町の観光PRの効果は大きいと考え、本事業の継続実施を図る。	① 実施回数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	1回	実績値	1回	達成度	100.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	1回										
実績値	1回										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	開催当初レベルの参加者の確保、雄武町のPR	② 参加者数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1,000人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>706人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>70.6%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	1,000人	実績値	706人	達成度	70.6%
目標年度	平成28年度										
目標値	1,000人										
実績値	706人										
達成度	70.6%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	実行委員会への負担金支出	オホーツクサイクリング実行委員会への負担金支出									
	前夜祭実行委員会への補助	オホーツクサイクリング前夜祭実行委員会への補助金交付									
	オホーツク地域サイクリングブランド化推進事業に対する補助	オホーツクサイクリングを含めたオホーツク地域のサイクリングの価値を高めるための取り組みに対し、補助金を交付									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民の間でも参加者へのもてなしの意識が定着しており、観光PRの効果も大きいことから、町としての一大イベントとして確立している。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	本事業の実施による広告媒体や、道内外からの参加者を通じた雄武町のPR効果は大きく、費用対効果の面からも有効と判断する。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	近年参加者は減少傾向にあり、運営面において課題があるものの、オホーツク地域のサイクリングブランド化に取り組んでおり、今後の事業発展が期待されることから、効果的と判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町を挙げての一大イベントとして定着しており、多くの集客がある事業であるため、町民の理解を得られているものと判断する。また、サイクリングブランド化の取り組みについては、国の交付金を活用している。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
日帰りコースの参加者は減少しているが、212kmコースはリピーターが多く根強い支持を得ている。また、更なるオホーツク地域のサイクリングの価値向上に取り組んでおり、今後も計画通り事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町を挙げての一大イベントとして定着しており、今後もサイクリングブランド化の取り組みとともに、事業を継続していく必要がある。		

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止